



ニッポンの事業競争力を強くする！ 事業継続等の新たなマネジメントシステム規格とその活用等による事業競争力強化モデル事業

事業概要

各グループ概要

取組紹介

イベント

事務局通信

メディア掲載

report 2013/6/13: [百五経済研究所](#)
「災害に強いまちづくり」に踏み出した尾鷲



グループ担当
 コンサルタント
高橋 篤史

「一」んには、運営事務局の高橋です。当事業においては、確実に何らかの収穫を得るべく、様々な角度からご支援してゆく所存ですので、よろしくお願いいたします。

さて、去る6月13日、三重県南部、尾鷲で百五経済研究所様のキックオフミーティングに同席いたしました。このグループの取組は、「尾鷲地域を支える中小企業による、地域連携BCMの実現」と称し、地震、津波リスクの高い尾鷲市の有力中小企業5社と商工会議所が連携してBCMSを構築し、災害に強いまちづくりを実現しようというものです。当日は商工会議所、5社のトップ・担当者のみではなく、三重県防災対策部、尾鷲市市長公室、尾鷲市防災危機管理室、尾鷲市商工観光推進課を含む総勢20名以上の参加があり、この取組への関心の高さが伺えました。



冒頭に経済産業省中部経済産業局の田島課長からご挨拶と、「グループ単位による事業競争力強化モデル事業」の目的と意義についてお話をいただき、百五経済研究所様から事業概要の説明、担当コンサルタントであるUL ASG JAPAN様から詳細な進め方についての説明を経て、最後にグループ企業様の自己紹介という流れでした。グループ企業様各社は日頃、商工会議所を通じて、お互いに良く知った間柄であり、防災対策やBCPの整備状況はまちまちですが、この地域のインフラや経済を支える主体としての強い使命感があり、それゆえに、皆さんの災害リスクへの意識の高さが伺えました。

個社単位での取組には限界がありますが、地域を代表する各社とそれを取りまとめる商工会議所が連携して協議していくことで、より実効性のあるBCMSIになることが期待されます。今回の計画には尾鷲市の総合防災訓練と連携し、合同演習を実施するなど、地域への拡がりを意識したイベントも予定されており、この辺のコーディネートは地元シンクタンクの百五経済研究所様の腕の見せどころといったところでしょうか。

議終了後、予定の特急電車まで時間がありましたので、市内を散策しつつ、港まで歩いてみました。駅から直線距離でわずか1km先に尾鷲港があり、周囲が山に囲まれているため、市街はわずかな平坦地に集中しています。この日は前日に台風がそれたためか非常に蒸し暑かったのですが、海は穏やかで山々も美しく、道を尋ねた人も親切に案内してくれ、平和でどかな風景が広がっていました。ところが一步商店街に足を踏み入れると、10mおきに「この海拔は〇〇メートル」、「津波は逃げるが勝ち！」と書いたフラッグが設置され、ここが津波の危険と同居している街であることを思い出させてくれます。

じような課題に直面しつつも、なかなか具体的な対策が進まない他の地域にとって、今回の取組は確実に参考になるであろうことを確信し、帰途につきました。「災害に強いまちづくり」に向けて第一歩を踏み出した尾鷲から、今後も目を離せません。🇯🇵🇯🇵



会 同